



会長 新年挨拶

山本 岩男



明けましておめでとうございます。今年は寒い冬になることが予想されていますが、会員の皆様におかれましては、ご家族とご一緒に健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、一昨年2月から世界的に流行した新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、経済生活、社会生活に大きな制約を受けた1年でした。年初からは、1年延期された2020年東京オリンピックを開催するかどうかで国内が二分され、最後まで議論がありました。最終的には無観客で開催されましたが、日本人アスリートの活躍によって元気を与えられたことは良かったと思っています。

日本では、8月から9月にかけてデルタ株の感染が1日5,000人以上に拡大して心配されましたが、10月に入り急速に感染者数が減少し、東京では1か月以上30人以下の感染状態が続き、東村山市でも感染者0人の状態が続いていました。しかし、欧米では感染拡大が収束せず、新しいオミクロン株も蔓延して規制が強化されています。私たちは、今後科学的データに基づき「正しく恐れ」行動して行くことが必要と思っています。

今年の稲門会活動は、対面による活動をコロナ禍以前の状態に段階的に戻し、会の本来の大切な目的である「稲門会活動を楽しむ」ための活動を追求していきたくと思っています。創立期の熱が薄くなっていることが指摘されていますが、我々役員と同好会世話人は、率先垂範して再度熱意をもって活性化に取り組んでまいりましょう。会員の皆様には積極的に会の行事や同好会活動に参加していただきますようお願いいたします。

会員の入会については、昨年度から7名の方に入会していただきましたが、これは会員の皆様の地道な努力の賜物と感謝しています。私たちは、稲門会活動以外でも様々な活動をしています。その中で知り合った校友がいましたら、是非役員・ポストパーソン等に連絡し、入会を勧めていただくようお願いいたします。

コロナ禍が収束に向かっていきますので、4月頃から会としても新たに会員増強活動を展開していきたくと思っています。

東村山稲門会は、昨年創立25周年を迎えましたが、今後30年、35年に向かって継続して発展していけるよう、会員の皆様のご指導とご協力をよろしく申し上げます。今年も会員の皆様の益々の発展とご健勝をお祈りいたします。



東村山稲門会ニュースの毎月発行

ニュースは、新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛に伴い、創立以来続いていた“毎月発行”が、一昨年5月号で休止。その後3回の臨時号を発行し、昨年1月から隔月の定期発行を再開していました。そして、本年1月号（本号）から毎月の定期発行を再開することになりました。

今後、誌面を充実させるための企画も検討していきますので、どうぞ皆様からの投稿をお願いいたします。

(編集部)

第 26 回通常総会開催報告

東村山稲門会の第 26 回の通常総会は、令和 3 年 11 月 20 日（土）サンパルネ・コンベンションホールで会員のみ総勢 40 名が参加して開催された。今回の総会は、新型コロナウイルス感染の収束状況が不透明のため、欠席者に対しては書面による審議を実施した。また、例年のように、早稲田大学関係者や近隣稲門会の役員など、多数のご来賓をお招きすることは見送ることにしたため、講演会も懇親会もない総会となったが、昨年度の総会は書面審議のみで行われたことを思うと、対面で開催できることを感謝したい。

町田副会長の司会で始まり、会の冒頭に昨年逝去された 10 名の会員のご冥福を祈り黙祷をささげた。会則により山本会長が議長に就任し、令和 2 年度の活動報告・会計報告・監査報告が上程され異議なく承認された。続いて令和 3 年度の活動計画・予算案が上程され可決承認された。山本会長は、新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、感染症対策を講じながら、対面での行事や同好会活動が徐々に再開され、会員相互の交流が再び活発になる 1 年にしたいとの抱負を語った。役員（改選期ではないため継続）も承認された。

議事終了後、この 1 年間で入会された 4 名を代表して、平井康雄さんが紹介され、挨拶された。続いて、一瞬マスクを外して全員で記念撮影した。

最後に、恒例の東村山稲門会の歌、早稲田大学校歌（当会会員小森さん指揮）によって声高らかに歌い、懇談をしてお開きになった。

後記 昨年より新型コロナウイルス感染症の影響から、従来のような対面での活動が制限され、総会やお花見会をはじめ様々な稲門会活動が中止を余儀なくされた。そうした中で、ZOOM を活用した役員会を開催するなど、新しい活動方式も取り入れ、2 年ぶりに対面での総会を開催することができたことは意義深い。懇談の席で、当会会員の井原さん（元早稲田大学理事）から校旗等に描かれている稲穂の米粒の数に関する秘話（数がまちまちであったことから、左右 19 粒に統一。早稲田大学の設立年である 1882 年にちなみ、 $1+8+8+2=19$ とした。）が紹介された。

○出席者 40 名（会員 40 名）（敬称略）

青木 淳、青山 稔、阿部 茂、井垣 和太、一色 泰久、井原 徹、伊吹 史郎、
上 素子、大内 一男、尾島 敏雄、小野 浩一、風間 和夫、上町 弓子、黒田 祐司、
小菅 宏、小森 敏孝、崎山 裕子、佐々木 晶敏、清水 聡、高橋 正夫、高柳 剛、
滝川 桜子、滝来 京子、田口 政澄、武井 勇治、田代 光一、田島 隆夫、
太刀岡 貴司、當間 昭治、戸田 志郎、富澤 文雄、南湖 修一、野村 茂樹、
平井 康雄、藤井 省、町田 和夫、町田 光高、三宅 良太、森本 吏、山本 岩男



（高柳 剛 記、小菅 宏 写真）

会からのお知らせ

○2月定例役員会

日時：2月12日(土) 14:00~16:30
場所：ふるさと歴史館 視聴覚室

○3月定例役員会

日時：3月12日(土) 14:00~16:30
場所：中央公民館 *場所変更の可能性あり

○新入会員

松谷 いづみさん (平成7年 法学部卒)
住所 文京区千駄木
松井 明さん (昭和46年 商学部卒)
住所 小平市上水南町
吉原 宗孝さん (昭和55年 理工学部卒)
住所 東村山市秋津町

○新年会について

総会議案書の活動計画に記載しましたが、新型コロナウイルスの感染対策で飲食等制限されています。残念ですが本年度の新年会は中止とさせていただきます。

○花見会について

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、ウォーキング主体の花見会として開催すべく検討中です。3月号ニュースに案内を掲載します。

令和3年度年会費納入のお願い

昨年11月20日開催の第26回総会で令和3年度の予算や活動計画が承認され、今年度の稲門会活動が本格的にスタートしました。

つきましては、令和3年度(令和3年11月~4年10月)の年会費5,000円を、下記のいずれかの方法で1月31日までにお振込みいただきますようお願いいたします。

①郵便振替口座 番号：00160-0-112250 名義：東村山稲門会
同封しました専用の払込取扱票をご利用ください。

②みずほ銀行久米川支店 普通預金口座：1876557 名義：早稲田大学東村山稲門会

*振り込み後、領収印の付いた振込票は必ず保管をお願いいたします。

*なお、11月の総会に出席された会員の皆様には、会場にて納入いただいております。

お誕生会

お誕生会について

7, 8, 9, 10, 11, 12月生まれのお誕生者の皆様へ

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は1月8日~3月21日、4月25日~6月20日、7月12日~9月30日の3回におよび、お誕生会も中止となりました。(2~6月も同様に中止になっています。)

緊急事態宣言が解除されコロナ禍が落ち着いてから皆様に連絡したいと思っておりましたが、人数制限、飲食禁止などの制限があり未だに会を再開出来ない状況です。10月以降新型コロナウイルス感染者が減ってきてはいますが、ブースター感染、オミクロン株などの問題でこの先の状況が不透明です。

皆様にはお会いできない状態が続いておりますが、どうぞお身体には気を付けられて今年こそはお会い出来るように願っております。

誕生会幹事 滝川 桜子・紅松 容子



野中昭夫さんの写真が下宅部遺跡の切手に！

市内多摩湖町にある下宅部遺跡の出土品 392 点が、令和 2 年 9 月 30 日に国の重要文化財に指定されました。この度、これを記念した『東京都下宅部遺跡出土品』重要文化財指定記念切手が発行されました。この切手に、当会会員で写真家の野中昭夫さん（昭和 32 年商学部卒）が撮影した、下宅部遺跡の遺物の写真から 4 枚（漆塗弓、注口土器 2 枚、土偶）が切手の図柄に採用されました。

- ・頒布価格：1,260 円。84 円切手が 10 枚。
- ・頒布場所：東村山ふるさと歴史館、
八国山たいけんの里、
市役所本庁舎一階情報コーナー

なお、野中さんが撮影した下宅部遺跡の全写真は、ふるさと歴史館の研修室に掲示されています。

右の写真は、切手にも採用された注口土器の写真です。
(野中 昭夫 写真、藤井 省 記)



資料は東村山ふるさと歴史館所蔵

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

グローバルサロン英語の会

世話人：山本 岩男 TEL 090-6011-8139
黒田 祐司、木野 友博

10 月 15 日（金）ZOOM オンラインにより第 76 回の会を開催しました。

1. アメリカジョーク集：ジョークの違いから文化が見える！（8） 担当 黒田

閉店前の肉屋の店に女性が来て尋ねた。「七面鳥は有りますか？」主人は冷蔵庫を開けて残った一羽を取り出して秤に掛けた。3 キロと表示。彼女はその七面鳥と秤を見て言った。「これより少し大きい七面鳥は有りますか？」主人はその七面鳥を冷蔵庫に戻し、そしてその七面鳥を再び取り出した。しかし今回はその七面鳥を秤に掛けた際に、七面鳥の上に自分の親指を載せたままにした。今回は 4 キロと表示。「素晴らしい」と女性は言い更に言った。「それとあれと両方の七面鳥をください。」



2. イースター蜂起 The Easter Rising 担当 木野

アイルランドは 700 年間イギリスの支配下にありました。この間何度も暴動・反乱がおきましたが、独立できませんでした。その中でも最大のものは 1916 年の「イースター蜂起 The Easter Rising」でした。1 週間の戦いで鎮圧されましたが、これを讃える 300 を超える軍歌が作られました。Nation Once Again ダブリンの中央郵便局に総司令部が置かれ、各地から 1000 人が結集しました。ケルトの統一国家のように「国家を再び」と意気軒昂で明日の英軍との戦に備えました。Dying Rave 蜂起は 1 週間で鎮圧され、中央郵便局には多くの兵士の遺体が転がり、身内の消息を探す市民の姿が見られました。数多くの兵士が処刑され、それを免れた兵士も獄中でハンガーストライキを行い抗議しました。イギリスのあまりにも厳しい処置に多くのアイルランド人が憤り、イギリスはその後、IRA によるゲリラ戦に悩まされることになりました。A Soldier's Song 1949 年、アイルランド共和国として独立を果たすまで最も歌われた歌で、1 番と 2 番が国歌として制定されました。Ireland's Call (アイルランドの呼び声) 独立後、長い間北アイルランド問題でイギリスとの紛争が続いていましたが、2005 年、IRA との和平が成立しラグビーの試合の前に歌われる「アイルランズ・コール」は 95 年に作られたこの歌が第 2 の国歌として、アウェイでは「アイルランズ・コール」だけが、ホームのアイルランドでは国歌の「兵士の歌」も斉唱されます。

参加者 3 名（敬称略）木野、黒田、山本（岩）

1 月以降の開催日：1 月 21 日（金）市民センター 14：00～16：30

2 月 18 日（金）市民センター 14：00～16：30

（山本 岩男 記）

女子会

世話人：上町 弓子 TEL 090-6540-3594
 滝川 桜子 TEL 042-394-8187

早稲田「夏目漱石」等見学会

12月4日(土)、大井先生(郷土研究会会長)の企画「早稲田『夏目漱石』等見学会」に稲門会女子会としてご一緒に参加させていただいた。コロナの様子を見ながら参加決定するという姿勢だったので、あわただしいメールお知らせ開催となった。最終参加者は、参加者19名のうち稲門会会員10名だった。先生の説明を聞きながらまた参加者同士会話交流も楽しつつウオーキングできたちょうどよい人数だった。

コースは、9時西武新宿線小平駅集合、早大行バス乗車、西早稲田下車、★高田馬場地名の発祥地(江戸時代に馬術や弓の練習場として存在、堀部安兵衛、叔父の決闘助太刀の場)、★穴八幡宮「一陽来復」(江戸城の北の鎮護。将軍家の祈願所)、★夏目漱石生誕地(夏目坂「喜久井町」は名主・夏目家の家紋に由来する)、★誓閑寺(漱石の「硝子戸の中」に出てくる梵鐘がある)、★堀部安兵衛 高田馬場決闘の際、酒を飲んだ店「小倉屋」、★平成29年9月建設された新宿区立漱石山房記念館(漱石終焉の地)、★多門院(松井須磨子の墓：大正時代日本の新劇活動で活躍)、★宗参寺(山鹿素行の墓：江戸前期の儒学者。牛込氏の墓：牛込地域の領主)などだった。

★昼食は、先生の馴染みの中華料理北京にご一緒させて戴いた。★解散。★稲門会員で早大構内散策をした。

早稲田大学で4年間過ごし、卒業後も度々大学に出かけていたが、今回の見学場所は、毎日見上げながら通学していた穴八幡宮以外の場所は知らない史跡ばかりだった。八幡宮も学生時代見た印象は素朴だったが、最近建て替えられて大変立派できれいな建物に変わり、別の場所に来たように感じた。中学生時代に実家にあった昭和文学全集全巻読破する気になり、一番先に手にしたのが夏目漱石全集で、三四郎、坊ちゃん、こころ、明暗などの数々を乱読し、記憶や心に残った作家の1人となっていたので、漱石の交友、家族、環境等展示されたものを思春期の読後感を思い出しながら一生懸命見学した。大井先生も少年時代を過ごされた地域とのことで思い出話も交え、親しみやすく力の入ったガイドをしてくださった。参加者の方から「学生時代私は・・・」「早稲田大学の周辺にこのように素晴らしい史跡があったとは!」「コロナ禍のストレスの中、久しぶりに楽しかった」「さわやかな気持ちになった」などの感想が伝えられた。青く澄み渡った空の下、暖かい穏やかな初冬の日差しの中を皆がそれぞれの思いを抱きながら楽しんだ母校早稲田大学周辺のウオーキングだった。

東村山稲門会参加者 10名：青山稔、上素子、佐々木晶敏、當麻光子、平井康雄、三宅良太、山本岩男、倉田喜久子、上町弓子、滝川桜子



(滝川 桜子 記、山本 岩男 写真)

ワセスポ応援の会

ZOOM 観戦報告

世話人：小森 敏孝 TEL 090-5199-5300
 富澤 文雄 TEL 080-5086-8461

①21 秋季野球早慶戦 10 月 31 日 (日)



東京六大学野球秋季リーグ戦で、我が早稲田大学は、いきなり立教戦で2連敗を喫し、今シーズンの優勝は非常に厳しいものとなりました。その後東大戦で2勝、法政戦は2分け、明治戦で2勝し、慶応に連勝すれば優勝というところまで挽回したのです。そして期待通りに慶応戦第1戦で見事な逆転勝利。勢いから判断して「早稲田優勝の可能性を強く感じました。最高の盛り上がりを見せて、第2戦のZOOM観戦日を迎えたわけです。この試合も初回のピンチを0点に抑え、勢いのままに先制点3点を取ってくれました。これは勝利する流れかと安心した矢先、7回にミスも出て思いもよらず同点。そのまま試合終了。残念！！引き分けの場合、勝ち点では共に6.5で並ぶものの、勝率で慶応に及ばず、慶応の優勝となって

しまいました。優勝が早慶2校に絞られ、早慶戦で決着がつくのは最高です。優勝こそ逃したものの、初戦の立教戦以後に敗戦はなく、見事なシーズンであったと総括してもよいのではないのでしょうか。試合中、ZOOM観戦参加者に、「一人一言」を各インテグ毎、順番にご自身の「野球観」や「体験談」などを、ご自由にお話いただき、和やかなうちにZOOM終了となりました。



“来年の優勝を願って、「いいぞいいぞ～、ワ～セ～ダ～”

参加者 9 名 (敬称略) : 岡田、小菅、小森、坂本、滝来(洋)、滝来(京)、富澤、安田、山本(岩)

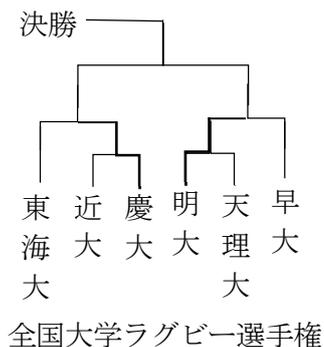
(小森 敏孝 記、山本 岩男 写真)

②21 ラグビー早慶戦 11 月 23 日 (祝)
～薄氷の勝利 新ルールが早稲田を救った～

前回迄 70 勝 7 分 20 敗と有利だが、近年 10 年においても早稲田の有利は続いていた。そのことを示すように、前半は河瀬君のラインブレイク、ナンバー8 佐藤君、SO 伊藤君らの縦への強力な切込み、大黒柱 CTB 長田君の巧みなスペース作りなどで持ち前の展開力で 5 トライを奪い、前半を 35-5 で終えた。しかし、新ルールが適用されて得た 39 分の最後のトライが、終わってみれば早稲田に勝利を齎した。従来では慶応のラインアウトになるところを早稲田のラインアウトになり、後半の慶応のラインアウトモールからトライ攻撃を見ればこの 7 点はなかったと考える。後半に入ると、12 分、19 分、26 分の 3 本の早稲田ゴール前のラインアウトモールからのトライ猛攻に遭い 40-26、さらに 33 分にもトライされ 40-33 となり前述の問題の 7 点差に追い詰められ、楽勝ムードが段々消えて行った。やはり、早慶戦は魔物である。後半の初めに、“この 6 年は勝つに勝つのだが僅差なんだよな”との呟きあり、その言葉が後半で現実となった。最終的には僅かであるが優勝戦線に残った。12 月 5 日の早明戦は ZOOM 観戦ではなかったが、ゴールライン近くで粘り強い防御で得点を与えず、スキを見ては一気にゴールラインを切る、個人的には往年の早稲田を見る思いだった。17-7 の勝利である。早慶明の 3 校は、全国大学ラグビー選手権では同一トーナメントで再度戦う。最後に帝京大に対抗戦の雪辱を果たし、優勝することを期待します。

参加者 6 名(敬称略) : 小菅、小森、坂本、富澤、崎山、山本(岩)

【新ルール 50/22】
 自陣からのキックがバウンドして敵陣 22 メートル区域で出れば攻撃陣(相手側)のラインアウトになる。() 内は従来



全国大学ラグビー選手権

(富澤 文雄 記)

書道同好会

世話人：大森 平八郎 TEL 042-391-0535



10月31日第50回 参加者5名(敬称略) 赤荻夫人、市川夫人、田代、大森夫妻。
緊急事態宣言が解除され、6月以来久しぶりの開催となりました。日曜日のうえに、東村山市市民文化祭が重なる等で欠席された方もおられましたが5名が参加しました。今後は終息し毎月開催できることを祈ってやみません。この度も田代氏から年賀状88例他役立つ文言集等をお届けいただきました。参考に致したく有難うございました。

同時に“孔子廟堂碑”の中から「江海無波」の4文字を臨書した優秀作品集のコピーの配布があり参考にしながら今回は全員で臨書を致しました。

11月30日第51回 参加者6名(敬称略) 赤荻夫人、上(素)、崎山、田代、大森夫妻。
今年初めて2月連続の開催となりましたが、前回に引き続き“「孔子廟堂碑」の基本講座”を田代氏が用意され皆に配布しました。横画と点の用筆、文字の構え方等の解説があり、自宅での学習に大変役立ちます。従来と同様1人1人に添削を行い、加えて田代氏が点・線について実際に書き乍ら指導され、その効果が充分あったと思います。

12月も開催が出来そうな状況です。新年はコロナ禍も終息し以前の通常生活が戻ってくることを願ひ、同好会も毎月実行出来るよう心より祈っております。

- 第53回開催日 1月30日(日)
- 第54回開催日 2月27日(日)
- 第55回開催日 3月31日(木)

- 開催日：毎月末日。
但し、公民館は月曜日が休館の為、
月末が月曜日の時は前日(日曜日)
- 開催時間：午後3時40分～5時
- 開催場所：萩山公民館
(住所：萩山町2-13-1 TEL 042-393-3170)

写真を楽しむ会

世話人：藤井 省 TEL 080-1112-6182
小菅 宏、野中 昭夫

第12回『写真を楽しむ会』の報告

12月14日(火) 14:00～16:00に第12回例会をオンラインで開催しました。

[活動内容]

- ・今回披露された写真は、風景=14枚(内、紅葉=4枚)、鳥=4枚、昆虫=4枚、花=1枚であった。
- ・野中さんの「スーニオン岬の夕陽」は、神殿と岬、海、島、そして夕陽の構図が印象的だった。湯浅さんの2羽のダイサギが空中で喧嘩している写真は、絵画のように美しかった。

- ・今回印象に残ったコメントの一部を紹介します。
一動きが速い鳥を撮るときは、シャッタースピード優先がよい。例えば、1/2000秒で。

壁や木に体を預けてブレを防ぐ、連続写真で数枚撮り1枚目は捨てる等の工夫。
一動物を撮るときには、アングルを変える(例えば下から見上げるように)と、表情も変わってオモシロイ写真になる。
一石庭は、明るい曇のときに撮ると、石の表情がでてよい。日が照っていると砂の反射が強くて、全体の雰囲気がない。



[参加者] 7名：(写真左上から右へ) 小菅夫人、小菅、藤井、高橋(正)、野中、阿部(茂)夫人、湯浅。

[次回の予定]

- ・第13回例会：3月8日(火) 13:00～15:20 中央公民館で開催予定。

(藤井 省 記)

園芸の会

世話人：當間 昭治 TEL 042-391-6023



コロナ禍で例会の開催に苦慮する中で、今回の「秋まき草花の苗の交換会」は昨年 11 月 12 日午後 2 時から世話人宅で開催しました。当日は好天に恵まれ屋外で実施、まず最初に参加者が持ち寄った草花の苗作りの苦労話と、近況報告をしました。

昨年 4 月にご主人を亡くされた木谷夫人は生活のペースがやっと固まりつつあり、この会が楽しみで今後も参加したいと、又初参加の勝方恵子さん（母校国際教養学部名誉教授）は、ご自宅の庭を花でいっぱいになりたいと話されました。集まった苗は、ゴデチャ スイートピー かすみ草 千鳥草 パンジー 金魚草 アリストロメリア ノースポール カンパニュラ等 200 個以上にもなりました。今年の春の開花が楽しみです。

苗の交換終了後、世話人が無農薬で育てた大根とコカブそしてスダチを、お土産にお渡ししました。

参加者（敬称略）9 名：岡田、勝方（恵）、木谷夫人、小菅夫人、當間夫妻、富澤夫人、藤澤、三宅。



（當間 昭治 記）

囲碁同好会

世話人：青木 淳 TEL 090-6520-3545



この度前任の高橋鶴次郎氏に替わり世話人を担当することになりました青木です。宜しく願いいたします。

新型コロナ禍のためしばらく活動中止しておりましたが、感染状況も落ち着いてきたので活動再開の運びとなりました。

下記の通り例会を開催いたします。多数の参加を期待しています。

日時：1月22日（土）12:30～

場所：市民センター 第5集会所

現在登録会員数9名の小所帯です。新規会員大歓迎です。是非、青木迄ご連絡ください。

音楽同好会

世話人：北野 二郎 TEL 04-2925-7893
高橋 文子

現在の状況下で、特に室内で発声を伴う当会の活動は困難が続いています。

当面、演奏活動を主に、機会があれば演奏会をと考えましたが、これも、対面、集団での練習は制限され難しく、そこで、安心できる状況になるまで、しばらく当会は休会とし、先が見通せるようになりましたら改めて、ご報告させていただきます。

（北野 二郎 記）

パソコン同好会

世話人：小菅 宏 TEL 042-391-0219



新型コロナウイルスの感染拡大により、活動を自粛していましたが11月から実際に集まって活動を再開しました。

テーマはパソコンだけでなくスマホやタブレットの質問や使い方もOKです。

11月6日(土)

久しぶりの集まっての同好会ですので、お互いに近況を報告しました。

Aクラス：当面のテーマを話し合い、各自の名刺を作成することにしました。以前、作成した名刺デザインのままとか、一部変更したいとの希望があり、それぞれ素材を用意、探すことにしました。

Bクラス：パソコン関連で困っていることを解決しました。

参加者9名 敬称略

A：森本、小林(俊)夫人、月森夫人、小菅夫人、一色、萩森(講師)、神山(講師)

B：中村(小平稲門会)、小菅

12月4日(土)

Aクラス：各自用意した名刺用素材を確認し、ワードでそれぞれ名刺サイズの下稿を作成しました。

Bクラス：Bクラスの今後の進め方を話し合いました。

参加者7名 敬称略

A：森本、小林(俊)夫人、小菅夫人、萩森(講師)、神山(講師)

B：藤井、小菅

12月18日(土)

Aクラス：各自作成した名刺用ワード原稿でA4サイズ10面付用紙に印刷し、名刺交換しました。

Bクラス：パソコン内の写真ファイルを撮影順や名前順に並べ替える方法、Youtubeを閲覧する方法を勉強しました。

参加者10名 敬称略

A：三宅、森本、小林(俊)夫人、月森夫人、小菅夫人、一色、萩森(講師)、神山(講師)

B：中村(小平稲門会)、小菅

今後の予定：

1月8日(土) 13:00~15:00、1月22日(土) 13:00~15:00 いずれも(Aクラスのみ)

場所：東村山市シルバー人材センター

新規に参加される方を募集しています。上記世話人まで、ご連絡ください。

※ Bクラスは必要によりメールやZOOMで情報交換とします。

俳句同好会

世話人：井垣 和太 TEL 04-2924-2934
黒田 祐司 TEL 080-9567-6994



第120回「稲酔」俳句会は、12月16日(木)締切りで、通信句会を実施いたしました。

コロナ禍で、顔を合わせてワイワイガヤガヤと楽しい句座方式を見合わせてから早2年近く、例会場の割烹「丸藤」も未だ休業状態のままで、年越しを余儀なくされ、残念無念の極みであります。

菊田一平、井垣稲雀、風間青葉、八木竜湖、出田邦山、黒田柿黒、山口泰山の7名が、何時に変わらぬ健吟5句を投句参加。互選方式で楽しみました。

今春からは、コロナ対策を経ての新生活様式で、対面での句会開催を实行していきたいと思ひます。稲門会の皆さん、是非是非朝夕の景を五・七・五のリズムに乗せて俳句を作ってみて下さい。

発足以来20年の活動歴を誇る「稲酔」俳句会に、皆さんの俳号を加えて益々楽しい同好会活動にしていきたいと思います。皆が優しく手を引いて面白さを伝えてくれますよ。世話人までご連絡ください。

次回は、2月24日(木)の予定です。(方式・時間等の詳細は別途ご連絡します。)

(稲雀 記)

同好会等 短期予定表

同好会・行事	1 月					2 月					世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	備考	日	曜	時 間	場 所	備考		
ウォーキングの会	—	—	—	—		—	—	—	—		町田(和)	090-9133-0567
郷土史の会	—	—	—	—		—	—	—	—		阿 部	042-332-0298
テニス同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		富 澤	080-5086-8461
囲碁 同好会	22	土	12:30	市民センター		—	—	—	—		青木 淳	090-6520-3545
カラオケ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		黒 田	080-9567-6994
園 芸 の 会	—	—	—	—		—	—	—	—		當 間	042-391-6023
麻雀 同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		阿 部	042-332-0298
音楽 同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		北 野	04-2925-7893
俳句 同好会	—	—	—	—		24	木	*	*		井 垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		紅松 喬	042-393-6924
グローバルサロン 英語の会	21	金	14:00~16:30	市民センター		18	金	14:00~16:30	市民センター		山本(岩)	090-6011-8139
女 子 会	—	—	—	—		—	—	—	—		滝川(桜)	042-394-8187
早稲田スポーツを 応援する会	—	—	—	—		—	—	—	—		富 澤	080-5086-8461
書 道 同 好 会	30	日	15:40~17:00	萩山公民館		27	日	15:40~17:00	萩山公民館		大 森	042-391-0535
写真を楽しむ会	—	—	—	—		—	—	—	—		藤 井	080-1112-6182
パソコン同好会	8	土	13:00~15:00	シルバー人材センター		5	土	13:00~15:00	シルバー人材センター		小 菅	090-6938-9694
	22	土	13:00~15:00	シルバー人材センター		19	土	13:00~15:00	シルバー人材センター			
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		黒 田	080-9567-6994

— :対象月に開催予定無し * :ニュース編集時点で未定。 詳細は世話人にお問い合わせ下さい。

★イベント・同好会等の最新予定は、ホームページのカレンダーを参照下さい。



編集後記



○新しい年、令和4年を迎えたがそれぞれの地でみんなどんな新年を迎えたのだろう。昨年、初秋に菅平を訪れた時、ホテルの前のゲレンデには人っ子一人いなかった。150人は宿泊できるホテルの客は我々2人のみ。コロナ禍のここ2年、ラグビー合宿で毎年賑わう夏も15万人のキャンセルが出たとか。この正月、ゲレンデにスキーを楽しむたくさんの客が戻っていることを願う。

○『のりこおかあさん』の本を朗読の仲間と読んだ。全生園に入所し、ハンセン病に対する差別や偏見に尽力してこられた平沢範子さんの物語。東村山稲門会の元会員の當摩彰子さんが執筆され、市内の小・中学校、図書館にも配布。私も、朗読の公演会で「のりこおかあさん」の半生を語り、多くの人にハンセン病の事を正しく理解してほしいと思う。
(滝来 京子 記)

次号の締め切りは1月22日(土)です。皆様の投稿をお待ちしています。

送付先 藤井 省(さとる) FAX: 042-393-1403 E-mail: satoff00@jcom.home.ne.jp

メールで投稿される方は、藤井以外の下記編集委員にも、同報メールをお願いします。

小菅 宏 hkosuge@asahi.email.ne.jp 滝来京子 k-takirai@jcom.home.ne.jp

俳壇

誰も彼も思いは同じ除夜の鐘
一月の真白き富士の気を吸えり

井垣 稻雀

寒の朝近所に止まる救急車
貰い手の決まりし子猫冬ぬくし

山口 泰山

初雪や志望校を決めて座す
喜寿にして受験生に当てにされ

八木 竜湖

白妙の富士はくれないの空のなか
コロナ禍や闇の中から叫ぶ声

戸田 梟

おせち料理絞めた鶏肉食べられず
出発のベル鍵は閉めたか初詣

黒田 柿黒

また来ては返す冬日の掃除ロボ
類杖の夏目漱石日短し

菊田 一平

年たけて小欲知足枇杷の花
柵の高き囲いや全生園

出田 邦山